

①下水道クイックプロジェクトモデル市町村における進捗予定

※現在、施工または検証中の技術・案件について抜粋

社会実験技術	採択市町村	地区	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考		
工場製作型 極小規模 処理施設	北海道苫前町	古丹別第1処理区 (第1系列)	★			★	★	★	計画流入水量 全体計画:330m ³ /日 今回計画:55m ³ /日(1系) ※110m ³ /日(2系)は施工 済みで、切替運転中。		
		古丹別第1処理区 (第2系列)							計画流入水量		
	北海道遠軽町	白滝処理区							★	全体計画:16m ³ /日 今回計画:16m ³ /日	
		安平処理区 (第1系列)							★	計画流入水量 全体計画:210m ³ /日 今回計画:70m ³ /日(1系)	
	膜分離型	北海道標茶町	磯分内処理区							計画流入水量 全体計画:142m ³ /日 今回計画:71m ³ /日	
			浄法寺処理区							計画流入水量 全体計画:300m ³ /日 今回計画:300m ³ /日	
	クイック 配管	岩手県二戸市	浄法寺処理区							★	寒冷地。一部U字側溝で 被覆。
		岩手県二戸市	浄法寺処理区							★	

進捗及び予定: ★ 一般化対象 初期対応の一次評価 設計 施工 検証

②今年度の取組方針

(1)工場製作型極小規模処理施設
本技術については、供用開始後、流入汚水量が計画汚水量(=既設能力)の1/2に達した市町村を一般化の対象として取り扱う方針としているが、平成23年度内では供用開始後、流入汚水量が1/2に達していないか、あるいは現在施工中で供用開始していない状況にある。
したがって、本年度は供用開始をしているが、流入汚水量が一般化対象水量に達していない市町村のうち、北海道苫前町の接触酸化型および岩手県二戸市の膜分離型(PMBR)を対象に一次評価の審査(第1回委員会:経過報告、第2回委員会:一次評価)を行い、他の市町村については、経過報告を行う方針である。

(2)クイック配管
クイック配管(露出配管・簡易被覆)については平成22年度に一般化済みであり、本年度は岩手県二戸市の側溝活用を対象に一般化の審査(第1回委員会:中間報告、第2回委員会:最終報告)を行う方針である。また、同市の露出配管については検証結果を最終報告し、利用ガイドの更新を行う予定である。

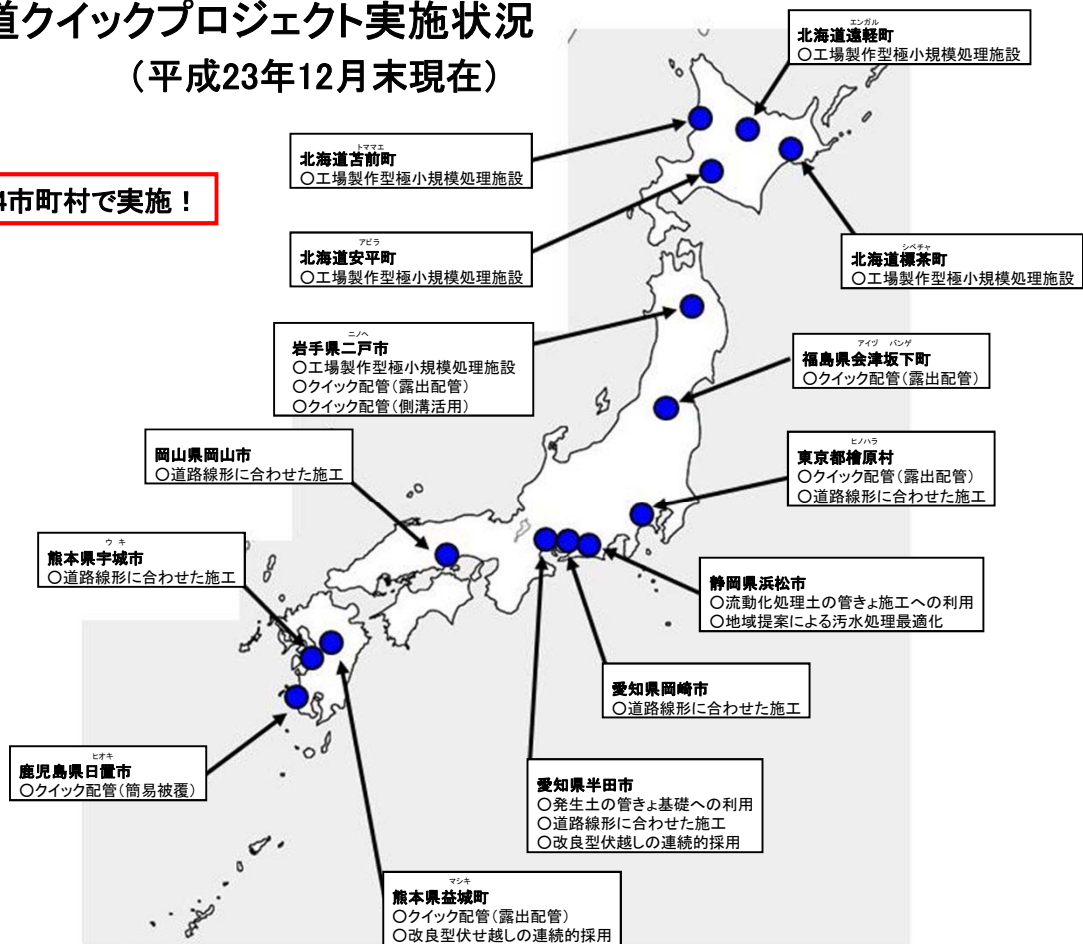
下水道クイックプロジェクトの概要

<低コスト、早期の整備を可能とする新たな設計・施工手法の導入>

- 平成19年度に、下水道未普及解消クイックプロジェクトにおいて、社会実験が開始された。
- 平成21年度には、新たな整備手法が未普及対策のみならず、改築対策にも活用可能であることを踏まえて、名称を「下水道クイックプロジェクト」に変更した。
- 平成22年度末までに、**5つの技術に関する検証が一通り終了し、大幅なコスト縮減、工期短縮が確認された。**これら技術については一般化され、利用する際の**手引書（技術利用ガイド）**を取りまとめた（順次「下水道クイックプロジェクトホームページ」にて公表予定）。
- 今後、他の技術についても全国の地方公共団体において活用が可能となるよう、**検証・評価を積極的に進めていく**予定である。

下水道クイックプロジェクト実施状況 (平成23年12月末現在)

全国14市町村で実施！



<一般化済の技術>

- ◎平成20年度
流動化処理土の管きょ施工への利用
- ◎平成21年度
改良型伏越しの連続的採用
道路線形に合わせた施工
発生土の管きょ基礎への利用
- ◎平成22年度
クイック配管(露出配管・簡易被覆)

技術の活用により
早期の未普及解消や
改築対策へ

